

行動障害のある人の生活と 支援の実践

～家族・支援者の思い～

東京都強度行動障害支援者養成研修（実践研修）

社会福祉法人 睦月会

関口 梨恵子

対象者の情報

対象者

年齢：30歳

性別：男性

愛の手帳：2度

支援区分：6

行動上の主な問題

出血を伴う激しい自傷行為、公共の場所でのスライディング等の危険行為、水道で水浴びする等の拘り、嘔吐行為等

家族の思い

30年間の家族の軌跡とこれからの支援者に望むこと

塚田 真喜子

幼少期

1歳半検診で言葉の遅れを指摘される

「自閉症」…

幼稚園入園

幼稚園を転園

様々な療育

小学校時代

転校

「自傷」の出現

梅ヶ丘病院入院

障害者施設への相談

中学校時代

自傷行為が激しくなり、学校に通えなくなる

自傷に対する考え方の違い…

手カバー

横浜発達クリニック受診

高校時代

自傷・奇声・パニック

癌で入院…

退院後に

手カバーが外れた

実習

実習開始

自傷が出現

小さい頃からの資料の大切さ

自傷

自傷を止めるべきか？

自傷をしたくてしてるわけではない

専門家がいない…

支援の統一が大切

これからの支援に望むこと

T氏の地域移行支援

行動障害のある人の地域移行を支える

社会福祉法人 睦月会

西東京市生活介護事業所 くろーばー

関口 梨恵子

はじめに 施設紹介

【名 称】

社会福祉法人睦月会 西東京市生活介護事業所くろーばー

【所在地】 東京都西東京市

【通所事業】

生活介護事業 45名

重症心身障害者事業 5名

療育型児童デイサービス事業 5名



はじめに 施設紹介

【名 称】 社会福祉法人睦月会 ケアホーム西東京



7年前の様子と支援方法

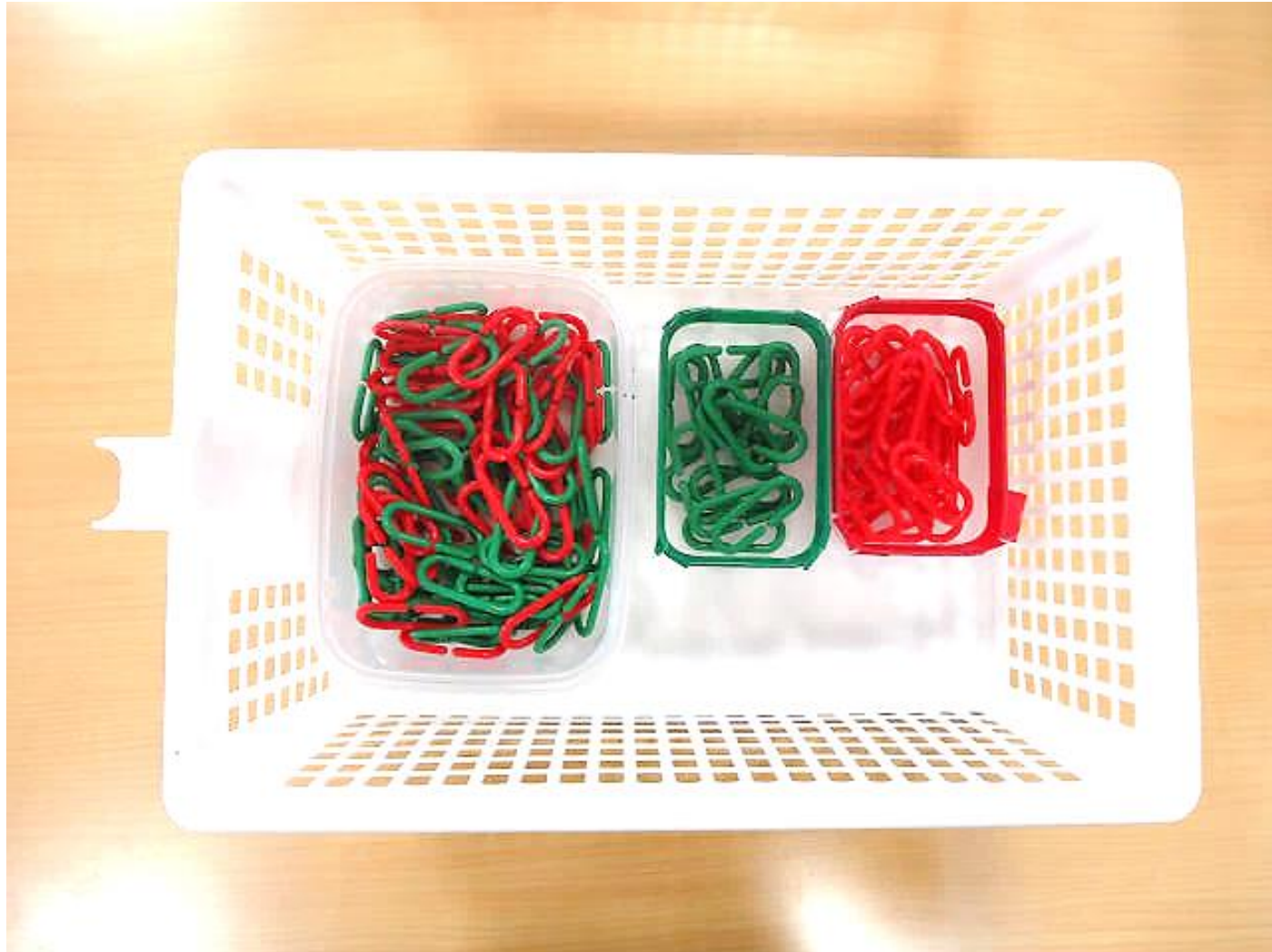
課題となっていた行動

- ・ 睡眠の乱れ
- ・ 洋服を着ることへの強い執着
- ・ 水への強い拘り

7年前の様子と支援方法



6年前の様子と支援方法



6年前の様子と支援方法



ケアホーム入居に向けて

リセットのチャンス

ご自宅で生活する中で出ていたこだわり、不適切な行動はケアホームには持ち込まない。

新たな生活環境の日課を作り上げていく

ご家族、通所事業所、グループホーム、医療等が共通の認識をお互いに確認しながら、環境づくりを進めた。

ケアホーム西東京

氏のケアホーム西東京入居に向けて

日 時：9月16日 11:30

場 所：よこはま発達クリニック

参加者：お母様、先生、課長、ホーム長

○経緯

これまで氏は継続してよこはま発達クリニックの先生とTEACCHプログラムの相談として先生に定期的を受診していた。

ケアホームの入居が決まり、生活リズムが大きく変わることをよい機会と捉えたお母様と中山先生から入居前に定期通院に参加してもらいたいとの相談を受ける。

くろーばーから課長、ケアホーム西東京からホーム長が参加した。

○話した内容

①ケアホーム入居スタート時に新しいルールをはっきり伝えていくことで、ケアホーム西東京での生活が安定すると予測される。

ご家庭で発生していた不適切な行動はケアホームには持ち込まないという考えを持つ

②日課をどのように組むかが課題である

・お母様より家庭でスケジュールボードを取り入れてみたが効果はなかったとのこと
スケジュール化の方法は個人差がある。1日まとめてご本人に伝わらなくても、次の提示を伝えることで伝わる方もいる。

方法はたくさんあるので、氏にとって理解しやすい方法を続けていく。

③構造化された環境の提案として

食事はリビングの固定された場所を決める。

おやつは居室内のテーブルで食べる。

おやつ量は決まった量を提供する。

食事中におかずを落とすことについてはカゴを用意して、そこに入れるように伝える。

夕食時から就寝時間までのスケジュール化を居室内でわかるように準備する。就寝の合図として同じサインを提示して見える化、わかる化していく

先生からの具体的な重要なアドバイスとして20時～22時の間は支援員が5分程度1対1で関わる時間を設けていく。本人を忙しいという理由で放置することで自傷や不適切な行動が表出される可能性がある。

◎ 課長から

何かを持ってもらう、運んでもらうなど一緒に行動することが出来る。その度にご本人を褒めることを繰り返すことで適切な行動が習慣化する可能性がある。自傷行為にフォーカスするのではなく、自傷行為をしていない時間を指し「自傷しなくて偉いね」等、褒めていくことも関係性を作るうえで重要になる。

・居室前のトイレは入居スタート時、施設する等して排泄以外の目的（水遊び）で入室しないルールを作る。例えばタイマーが鳴ったらトイレに誘う等

○お母様が心配していること

・家庭では服をたくさん着てしまう。

⇒寝巻きと私服をはっきりわけてはどうか？

○取り決めた方針

・居室内の環境整備として、エアコンのコンセントとテレビ線にカバーを付ける

テレビ線を直接引き抜いて消していたことに対して、リモコンの操作を覚えて頂くことは可能と考えるので、教えていく。

・入居初日を日曜日にせずに、月曜日の通所後から送迎バスでケアホーム西東京に入っていた。当方は金曜日の通所後ケアホームにお母様が迎えに来て帰宅。また日曜日の午後にはケアホーム西東京に戻ってきていただく。

ご本人が時間を持って余すことなく週末の今までの日課（移動支援・音楽活動等）をこなしていただくことで状態が安定する可能性が高い。

・ケアホーム西東京想定

通所から帰所⇒おやつカード提示⇒居室で準備したおやつを食べる⇒トイレカード提示

⇒トイレに行く⇒お風呂カード⇒お風呂でシャワーを浴びる⇒○○カード提示⇒

居室で○○を行う⇒タイマーが鳴る⇒リビングで夕食を食べる

上記のようにスケジュール化することで生活の安定を図る

・ケアホーム西東京入居までくろーばーで写真カードの準備を依頼する。

今後の予定

11月17日（月）氏入所予定

11月20日（木）先生14:30～16:30 ケアホーム西東京に見学とご本人16時以降の様子を確認する。